

## 【仕様】

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 使用電源     | AC100V 50/60Hz              |
| 消費電力     | ※25/20W                     |
| 定格時間     | ※30分                        |
| ポンプの駆動方式 | シリコン半波整流<br>マグネット・バイブレーター方式 |
| コード      | 2.7m                        |
| 高さ及長さ    | 19×20cm                     |
| 容器       | 850ccポリ樹脂乳白色                |
| 総重量      | 1.2kg                       |
| その他      | 騒音防止器付き                     |

※本体が熱くなってきたら、ご使用をお控えください。

- 標準付属品      2.0L棒ハンドル      1本  
セラミック用バルブコンセット      1セット

## KITANIHON WORKS

### サービス部

〒919-0504

福井県坂井市坂井町御油田39-102

TEL (0776) 67-6800

FAX (0776) 67-6802

URL <http://www.kitanihon-ss.com>

Email [info@kitanihon-ss.com](mailto:info@kitanihon-ss.com)



# WASHGUN PECKER



## 取扱説明

|          |     |
|----------|-----|
| もくじ      |     |
| ■安全上のご注意 | 1   |
| ■各部の名称   | 2   |
| ■ご使用法    | 3～5 |
| ■故障の手引き  | 6   |
| ■仕様      | 7   |

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

## 【安全上のご注意】

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。



### 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

- 水専用となっておりますので他の液は使用しない。
- 噴射力が強い為、手や顔に直接噴射しない。
- 電源プラグ・コードは次のことを守る。
  - 傷つけない、加工しない、無理に曲げない、束ねない、熱器具に近づけない。
  - ぬれた手で抜き差ししない。
  - 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
- 異常・故障時には直ちに使用を中止し電源プラグを抜く。
- 防水性ではありませんのでご注意ください。感電、ショートの原因となります。
- お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 改造や加工は絶対しない。怪我や故障の原因となります。
- 埋込型医療機器(ペースメーカー・除細動機など)をご装着の方は、ご使用をお控えください



### 注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない。
- 本体が異常に熱くなった場合は使用しない。
- ご使用後は水を抜いて保管する。残液が逆流して故障の原因となります。

## ⊘ してはいけない内容です。

- ノズル穴を針等でつついたり触れたりしない。  
(精密な加工を施しています。)
- 酸性、アルカリ性の液体は使用しないで下さい。機械の安全性に悪影響を与えることがあります。
- ポリウムツマミは調整済みにつき通常の作業時には操作しない。
- 落としたり強い衝撃を与えない。感電、破損、故障による怪我の原因となります。
- 子供や幼児の手の届く所では使用しない。
- 人に向けて使用しない。
- 引火性のある場所では使用しない。故障や火災の原因となります。

## 【故障の手引き】

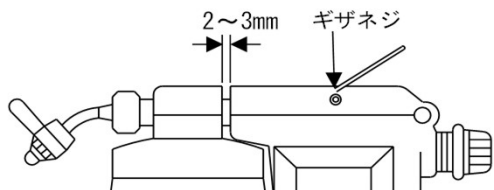
[17スパナ]をご用意ください

| 原因            |                   | 処置   | 参照ページ |
|---------------|-------------------|--|-------|
| 噴射状態の異常       | ノズルのゴミ詰まりや穴の損傷    | ノズル式交換 《ノズルの締め方・外し方》参照<br>※ノズル穴を針等でつついたり触れたりしないでください | 3     |
|               | フィルター(吸込み口)にゴミが付着 | 網に付着しているゴミを除去<br>容器内洗浄                               | -     |
| 水の噴射圧力が悪い     | 長期間使用しなかったため      | 市販の浸透潤滑剤を注す(例:KURE 5-56)                             | -     |
|               | ポンプが弱くなっている       | 部品交換または修理をご依頼ください<br>《ポンプの入れ方》参照                     | 4     |
|               | ポリウムツマミの回しすぎ      | 音が小さい→ツマミを左に回す<br>音が大きい→ツマミを右に回す                     | -     |
| 音は射するが水が噴射しない | サクシオンパイプの亀裂、損傷    | サクシオンパイプの交換  | -     |
|               | ポンプシステムの故障        | 修理をご依頼ください。  | -     |
| 音がしない         | ポンプ内にゴミが混入        | 《ポンプ内バルブコン不具合の対処法》参照                                 | 3     |
|               | 電気システムの故障         | 修理をご依頼ください   | -     |
| 振動音が大きい       | 騒音防止消耗部品の損傷       | 部品交換または修理をご依頼ください                                    | -     |
| ノズルからの水漏れ     | ノズルのネジが緩んでいる      | プライヤーで締める<br>《ノズルの締め方・外し方》参照                         | 3     |
|               | スピナナの亀裂、損傷        | 部品交換または修理をご依頼ください                                    | -     |
| ボトルホルダーが抜けた   | 振動によるギザネジ緩み       | ギザネジを締める<br>《ポイント調整》参照                               | 5     |

## 《ポイント調整》

- 1 付属の2.0L棒ハンドルで両端のギザネジを緩める。
- 2 水を噴射しながらボトルホルダーを出し入れし、音が小さく水の出方の良いところで止める。  
(以前のギザネジの傷跡を目安にすると簡単です)
- 3 両端のギザネジを締める。

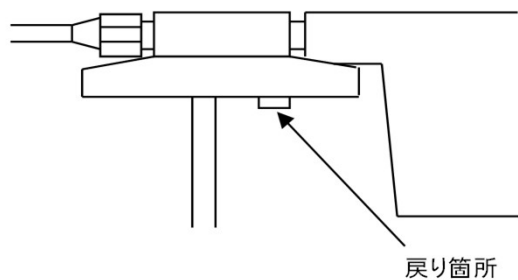
本体とボトルホルダーのすき間は2~3mmぐらいが適当です。  
振動やギザネジの緩みにより本体からボトルホルダーが抜ける場合があります。  
その場合ポイント調整の要領でボトルホルダーを本体にはめ込んでください。



## 《長期間保存する時の注意》

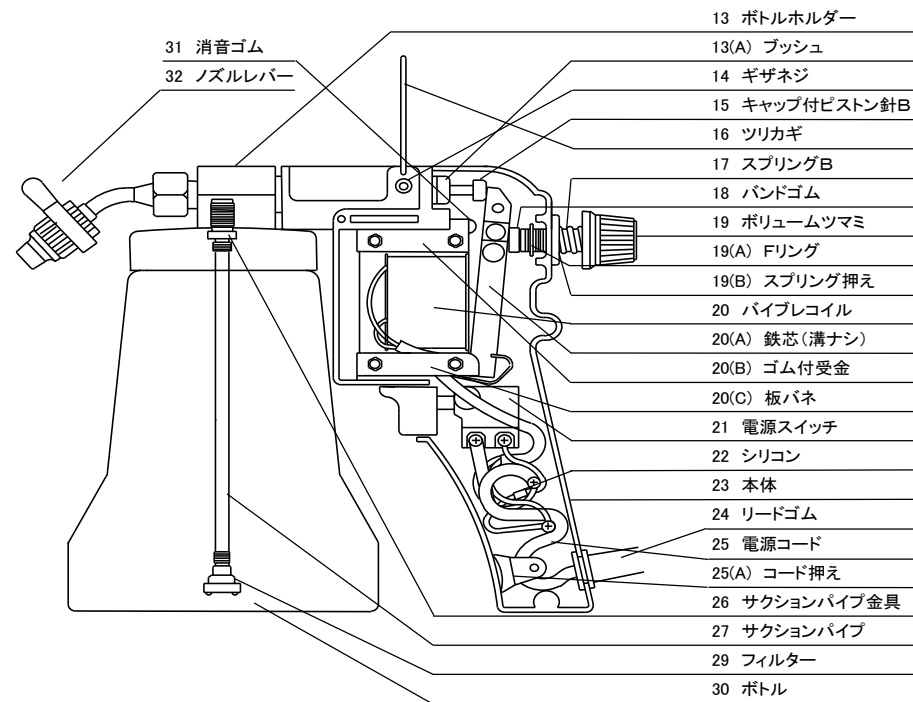
ポンプ内に残った水の不純物が原因で不具合が起きる可能性があります。  
不具合を少しでも回避するため下記のお手入れ方法を必ず行ってください。

- 1 スプレーガンを空打ちしサクションパイプ内の水を出す。
- 2 戻り箇所穴に市販の浸透潤滑剤を軽くプッシュする。(例:KURE5-56)
- 3 ポンプ内に潤滑油を浸透させる為 スプレーガンを空打ちしながら軽く振る。(5~6回程度)
- 4 保管する。  
(但し出来るだけ早くご使用されることをお勧めします。)

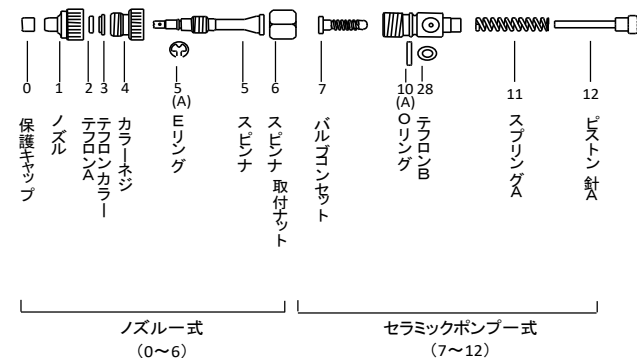


※お客様自身の修理は大変危険です。弊社サービス部へご相談ください。

## 【各部の名称】



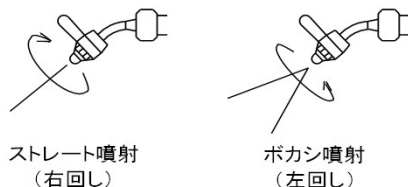
## 《ノズル及びポンプの詳細図》



## 【ご使用法】

ボトルに水を入れる。  
汚れの箇所に対し垂直に約15cm～20cm離しスイッチを押して噴射する。  
(ストレート噴射は圧力が強い為、生地ものへのご使用はお控えください)

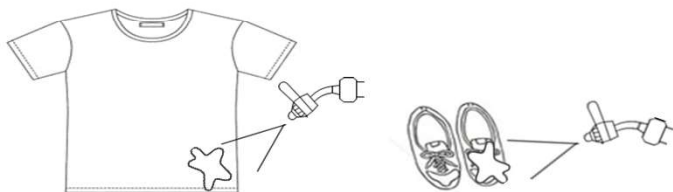
噴射圧力の調整



### ご使用例

ユニフォーム・スパイク・レガース等、スポーツのあらゆる汚れにご使用いただけます。  
ユニフォームなどの生地ものには、半ボカシ噴射をおすすめいたします。  
(ストレート噴射を少しぼかした噴射)

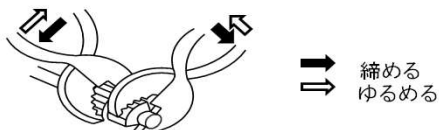
水だけでは汚れが落ちにくい場合、中性洗剤を汚れている箇所に吹きかけた後に、  
ご使用いただくと、より効果的です。



## 【修理の手引き】

### ① 《ノズルの締め方・外し方》

ノズルはプライヤー2本で取り外し・取付が可能です。



※ノズルを取り付ける際はテフロンAとテフロンカラーの向き・順番にご注意下さい。《ノズル及びポンプの詳細図》参照2ページ

### ② 《ポンプの入れ方》

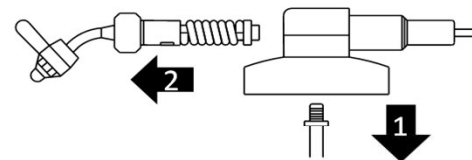
- 1 ボトルホルダーにピストン針Bを入れ抜けないように押えながらテフロンBの位置をボトルホルダーの穴に合わせポンプ式をはめ込む。
- 2 サクションパイプ金具を取り付ける。
- 3 その後ポイントを調整する。《ポイント調整》参照5ページ

\*\*\*\*\*

※Youtube動画「ポンプの取り付け方」で詳しく説明しています。

### ③ 《ポンプの取り外し方》

- 1 両端のギザネジを緩めてボトルホルダーを本体から抜く。
- 2 ノズルー式(スピナ取付ナット)をスパナで少し緩める。
- 3 サクションパイプ金具をボトルホルダーから外す。
- 4 ノズルを握りボトルホルダーからポンプ式を引き抜く。
- 5 ポンプ式を傷つけないよう布で巻きスパナでスピナ取付ナット部分よりノズルー式を外す。



\*\*\*\*\*

※Youtube動画「ポンプの取り外し方」で詳しく説明しています。

### ④ 《付属のバルブコンセットの交換》

長期間使用をしていると、ポンプ内のバルブコンに傷が付き、  
噴射力の低下、噴射の間隔が悪くなる不具合が起こる事がある。  
ポンプ内のバルブコンを取り換える事で改善する事がある。  
(付属品に予備パーツあり)

- 1 ノズルー式(スピナ取付ナット)をスパナで取り外す。
- 2 ポンプ内に入っているバルブコンセットを抜く
- 3 付属している予備のバルブコンセットを入れる
- 4 ノズルー式(スピナ取付ナット)を取り付ける



### ⑤ 《困ったときの修理の動画》

Youtubeで「WASHGUN PECKER」と検索  
[https://www.youtube.com/@wg\\_pecker](https://www.youtube.com/@wg_pecker)

